

平成14年度一般研究の趣旨及び経過

1. 自閉的傾向のある児童の社会性の発達と教育的支援に関する研究

(1) 研究の趣旨と概要

自閉症教育に関するこれまでの研究や実践から、言語面や認知面の指導については、一定の成果が得られつつある。しかし、社会性の発達に関する指導については、模索の段階にあり、社会性の基盤となる社会的認知能力の本質を解明する研究が必要とされている。平成9～11年度に実施された一般研究「自閉症児・学習障害児の社会性の発達に関する研究」の結果からも、自閉症やアスペルガー症候群等の自閉症スペクトラム障害の児童生徒に認められる社会性の発達の未熟さや歪みの問題に関しては、他者の欲求や行動の意図を察知する能力、いわゆる社会的認知能力の欠陥が、その基盤にある可能性が示されたが、この社会的認知能力の本質を追究し、教育的支援の望ましい方法について検討することが、今回の一般研究の趣旨である。

この研究ではまず、表情認知課題、言語音認知課題、動作課題をはじめとした多面的アプローチにより、自閉症児の社会的認知能力の問題の本質について、言語的側面及び非言語的・身体運動的側面から検討する。次に、これらの検討の結果を踏まえて、ゲームや体育を通した社会性の指導、集団適応に関する指導をはじめ、ソーシャル・ストーリー技法等、社会性を育てることを目的とした様々な方法について、その指導過程を分析し、教育的支援の在り方について検討する。

(2) 研究経過と今後の研究方針

今年度は、研究協力機関の教師の方々に協力をいただいた「高機能自閉症スペクトラム・スクリーニング質問紙(ASSQ)」で得られたデータと研究協力機関の保護者の方々に協力をいただいた「行動と社会性の評価に関する質問紙(ASQ)」で得られたデータを照合し、社会的認知能力の障害の本質について検討を行った。また、社会的認知能力の障害の客観的指標として、脳波の事象関連電位を測定し、自閉症児と健常な児童生徒の言語音の識別能力と注意について比較した。同時に、自閉症児における視線検出のメカニズムについても実験心理学的な検討を実施した。さらに、自閉症児の身体運動における協応性の向上を目指した支援の在り方についても検討し、それらをASSQやASQの結果とも照合し、自閉症児の社会性と身体運動的側面との関係について検討した。これらの研究は、国立特殊教育総合研究所分室の研究協力機関である学校法人武蔵野東学園 武蔵野東小学校及び中学校に在籍する児童生徒を対象に実施した。研究成果は、関係諸学会や学術雑誌等にて報告するとともに、本報告書『自閉性障害のある児童生徒の教育に関する研究 第6巻』にまとめた。

さらに、この一般研究の関連研究として実施している科学研究費補助金の基盤研究(B)(2)「自閉症児・ADHD児における社会的障害の特徴と教育的支援に関する研究」(課題番号:13410042、研究

代表者：東條吉邦、研究期間：平成13～15年度）の中間報告書として、『自閉症とADHDの子どもたちへの教育支援とアセスメント』を先日（平成15年2月）刊行し、その報告書においても、この研究の成果の一部を報告した。

来年度は、高機能自閉症、ADHD（注意欠陥/多動性障害）、LD（学習障害）、それぞれの社会的認知能力の障害の特質（差異）を分析するとともに、それぞれの障害への教育的支援の在り方と方法を中心に研究を進めていく予定である。

2. 高機能自閉症児等への教育的支援 ― 自閉症教育の充実に関する効果的な研修の在り方 ―

（1）研究の趣旨及び概要

平成12～13年度に実施した一般研究「通常の学級における自閉的傾向のある児童の教育に関する研究」において、通常の学級で自閉症児を指導する学級担任の悩みは、①学力が低いほど学習の困難さの問題で指導に強く悩んでいること、②授業中の行動上の問題では、学力の高低に関係なく対応に苦慮していること、③生活場面では、行動上の問題で対応に苦慮していることが明らかになっている。さらに、学級担任が必要としている支援は、①学習場面では、学力が低いほど個別の支援者や教材の作成者が必要なこと、②行動上の問題に関しては、学力の高低に関係なく、自閉症教育の研修や、指導の手引書の必要性が明らかになっている。

そこで、この研究の残された課題、特に通常の学級担任が必要とする自閉症教育の研修に関する問題を、通常の学級に在籍する高機能自閉症児への教育的対応に焦点を当てながら検討する。具体的には、各都道府県・政令指定都市の教育センターにおいて、通常の学級担任を対象にした5年次・10年次研修や、障害児理解推進研修講座等の実態調査を実施し、自閉症教育に関する全国的な動向を調査する。

（2）研究経過と今後の研究方針

本研究は、平成14～15年度の2年計画であるが、平成14年の10月に文部科学省から出された「今後の特別支援教育の在り方について（中間まとめ）」を踏まえて、各都道府県に調査依頼する質問紙の内容を、自閉症教育に関する研修内容や方法だけでなく、LD（学習障害）やADHD（注意欠陥/多動性障害）等の軽度発達障害に関する研修についても拡大して調査を実施することとし、センター等で行われている研修の現状を把握する予定である。また、中間まとめで記述されている「特別支援教育コーディネータ（仮称）」に関しても、各都道府県等の教育センターにおける今後の研修計画の予定から、状況の把握をしていく予定にしている。

また、この一般研究の関連研究として実施している科学研究費補助金の基盤研究(C)(2)「通常の学級における自閉症児の支援マニュアルの開発と運用に関する実証的研究」（課題番号：13610349、研究代表者：廣瀬由美子、研究期間：平成13～15年度）の中間報告書として、『通常の学級の先生へ～自閉症児の支援マニュアル（試案）～』を先日（平成15年2月）刊行し、研究成果の一部を報告した。

3. 研究組織

国立特殊教育総合研究所分室一般研究の研究協力機関、研究協力者、研究分担者、研究資料提供者は以下に示す通りである。

(1) 研究協力機関

学校法人 武蔵野東学園 武蔵野東小学校

(2) 研究協力者（五十音順）

井上とも子	横浜市養護教育総合センター 指導主事
大谷 尚之	茨城県教育研修センター 指導主事
加藤 哲文	上越教育大学 教授
紺野 道子	白百合女子大学 研究助手
大六 一志	武蔵野女子大学 助教授
柘植 雅義	文部科学省初等中等教育局 特別支援教育調査官
計野浩一郎	学校法人 武蔵野東学園 武蔵野東教育研究所 主幹
谷口 清	東京慈恵会医科大学 教授

(3) 研究分担者（五十音順、◎本報告書編集責任者）

是枝喜代治	国立特殊教育総合研究所 情緒障害教育研究部主任研究官
◎東條 吉邦	国立特殊教育総合研究所 分室長
廣瀬由美子	国立特殊教育総合研究所 分室主任研究官

(4) 研究資料提供者（五十音順）

井伊 智子	お茶の水女子大学 人間文化研究科
市川 宏伸	東京都立梅ヶ丘病院 副院長
落合みどり	ペンギンくらぶ 代表
酒井 彩子	お茶の水女子大学 人間文化研究科
鈴木 茂	全国病弱教育研究会 会長
千住 淳	東京大学 総合文化研究科
長谷川寿一	東京大学 教授
林 恵津子	加賀福祉園（平成13年度国立特殊教育総合研究所 分室客員研究員）

4. 平成14年度の国立特殊教育総合研究所分室一般研究関連の報告等

- 1) 大六一志・千住淳・林恵津子・東條吉邦・市川宏伸 (2003) 自閉症スクリーニング質問紙 (ASQ) 日本語版の作成. *自閉症とADHDの子どもたちへの教育支援とアセスメント*, 33-38.
- 2) 廣瀬由美子・伊藤芳子・井伊智子 (2003) 自閉症児を指導する通常の学級担任へのコンサルテーションの実践—オーダーメイドマニュアルを使用した事例から—. *国立特殊教育総合研究所研究紀要*, 30 (印刷中).
- 3) 廣瀬由美子 (2002) 特殊学級への適応とその援助. 「*発達臨床心理学 第2巻* (小林重雄監修・今野義孝・藤原義博編著)」, コレール社, 119-122.
- 4) 廣瀬由美子 (2003) 通常学級参加と学級生活スキルの援助. 「*自閉性障害の理解と対応* (小林重雄・園山繁樹・野口幸弘編集)」, コレール社, 177-188.
- 5) 廣瀬由美子・鈴木茂・井伊智子・東條吉邦 (2002) 自閉症児を受け持つ担任教師へのコンサルテーションに関する研究(5). *日本特殊教育学会第40回大会発表論文集*, 221.
- 6) 廣瀬由美子 (2002) 通常の学級で支援を必要としている子への対応と支援のバリエーション (1)~(4). *月刊実践障害児教育*, 351~354号.
- 7) 廣瀬由美子 (2003) 通常の学級で支援を必要としている子への対応と支援のバリエーション (5)~(6). *月刊実践障害児教育*, 356~357号.
- 8) 廣瀬由美子 (2002) 自閉症の子どもから学ぶコミュニケーション. *発達の遅れと教育*, 544号.
- 9) 落合みどり・東條吉邦 (2003) ADHD児・高機能自閉症児における社会的困難性の特徴と教育. *自閉症とADHDの子どもたちへの教育支援とアセスメント*, 1-21.
- 10) 千住淳・東條吉邦・紺野道子・大六一志・長谷川寿一 (2002) 自閉症児におけるまなざしからの心の読み取り—心の理論と言語能力・一般的知能・障害程度との関連—. *心理学研究*, 73(1), 64-70.
- 11) 寺山千代子・東條吉邦 (2002) 自閉症と学校教育(2). *自閉症と発達障害研究の進歩*, 6, 274-284.
- 12) 東條吉邦 (2002) 自閉スペクトラムの児童生徒への特別支援教育—高機能自閉症及びアスペルガー症候群を中心に—. *自閉症スペクトラム研究*, 1, 25-36.
- 13) 東條吉邦 (2002) 高機能自閉症・アスペルガー症候群の理解と教育. *教育と医学*, 50(7), 89-91.
- 14) 東條吉邦 (2002) 臨床発達心理学の基礎研究法. 「*臨床発達心理学概論* (長崎勤・古澤頼雄・藤田継道編)」, ミネルヴァ書房, 116-122, 2002.
- 15) 東條吉邦 (2002) 自閉症研究および自閉症教育に関する現在の課題と今後の動向. *特別支援教育 No. 7*, 東洋館出版社, 58-61.
- 16) 東條吉邦 (2003) *自閉症とADHDの子どもたちへの教育支援とアセスメント*. (平成14年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)(2)) (課題番号: 13410042) 『自閉症児・ADHD児における社会的障害の特徴と教育的支援に関する研究』報告書). 国立特殊教育総合研究所.

(東條吉邦・廣瀬由美子)